

かわら版

第2号
2020.8.4
発行責任者
眞島 裕

人気の「もっけ玉」 20% off

酒田の方言で「もっけだの」は 感謝の意を伝える言葉。

コロナ禍で頑張る事業者の皆さんを応援するため、

▲インターネットで購入できる電子チケット「もっけ玉」

▲参加店舗で購入できる紙媒体の「もっけ玉商品券」

2種類の「もっけ玉」があります。どっちの「もっけ玉」も、購入した店でのみ利用できるのですが、大型量販店ではなく、地元酒田の飲食店に、ぴったりのナイスな企画と言えます。

当協会では、酒田市の依頼を受けて、「もっけ玉商品券」の事務をしたのですが、天手古舞の忙しさが続いています。

夢の倶楽 紙チケットは完売 電子チケットは残りわずか
酒田夢の倶楽では、紙媒体の

「もっけ玉商品券」は好評で完売しましたが、電子チケット「もっけ玉」は残数がありません。電子チケットは、スマホやパソコンで購入できます

チケット先払いシステム



●もっけ玉はスマホで購入できる店指定の先払いチケットです。
●購入されると、代金がいち早くお店に届きます。
●利用者は定価の**20%オフ**でチケットが購入できお得です!

免責事項はウェブサイトをご確認ください

もっけ玉ウェブサイト <https://mokkedama.com/> 詳しくは ▶▶▶ [こちらから](#)

日々 山居倉庫の魅力を発信中

シリーズ 「夢の倶楽協会」の面々



夢の倶楽協会
梅田光隆会長

「夢の倶楽協会」は、酒田夢の倶楽に納品する業者が、業者相互の親睦と連携により、酒田夢の倶楽の発展を図ることを目的として設立された団体です。

会員は、酒田市内の物販業者百四十社が入会しています。入会はいつでも可能です。

会長は(有)梅田食品製造本舗代表取締役の梅田光隆氏。副会長は、(株)梨屋代表取締役の齋藤真氏、蒲徳商店専務の阿部広幸氏です。

今回は、会長、副会長の会社をご紹介します。

《梅田食品製造本舗》

明治三十六年創業。当時は、地元のおそばや小麦などを粉にするといった製粉業でした。無から有を生み出さなければならぬ製造業にとって、常に新商品開発は宿命で、永年の情熱から主力商品の「むきそば」を考案し商品化に至りました。主力商品のむきそばについては、従来は袋詰め販売していましたが、昭和六十三年に「むきそば缶詰セット」を開発したところ、だしのおいしさ、手軽さが受け、今も続くヒット商品となりました。 ☎04070

《漬物の梨屋》

安政二年に寺町(現・中町)で創業。創業時からの漬物である「奈良漬」は、昭和天皇が皇太子の時に、献上したこともあります。

奈良漬は、夏バテに効果のある鰯と相性がいいことでも知られています。「奈良漬に含まれる「メラノイジン」という茶色の色素を持つ抗酸化物質が、鰯に含まれるDHA、EPAやビタミン類の体への吸収を助ける働きをする。」ことが弊社ブログで紹介されています。 ☎0252

《蒲徳商店》

大正四年に日吉町で創業。現在は中町三丁目三代目の阿部広幸さんが切り盛りする。阿部さんは商品の基準を「保育園の給食に安心して出すことができるかどうかです」と語る。健康を気遣い、アレルギーに配慮して、完全無添加。魚のすり身に、塩、酒、砂糖、片栗粉、ホタテエキなどをベースにしている。酒田まつりのごちそうとして、めでたい席に、蒲徳の蒲鉾が添えられる。地元食材に拘った多彩なさま揚げも好評。 ☎0668

好評開催中

納涼 ふるさとフェア

八月一日(土)から十日(月・祝)に「夢の倶楽リニューアルオープン」納涼ふるさとフェアを開催しています。

複数のお店の商品をひとつのギフトにセットアップ。夢の倶楽だからできる夢ギフトが満載。

「納涼枝豆セット」、「山居倉庫セット」、「夢の倶楽ヨーグルトセット」、「ふるさとセット」、「酒田・せんべいセット」などギフトセット

華の館 企画展のご案内

《白旗孝夫切り絵展》開催中

期間 八月三十一日(月)まで
白旗孝夫さん来館
毎週日曜日 十時~十二時

《ブナの2020 斎藤政広写真展》

期間 九月五日(土)から
十月五日(月)まで

齋藤さんは横浜市出身。酒田に移住し三十五年。鳥海山と月山のブナの森や多彩で多様な自然をテーマに撮影。鳥海山観光ガイドで、大手出版社の山地図も調査執筆中。華の館で絵葉書を販売しています。

ティータイムセット



2,912円

女性に大人気のセットです!

を数多く準備してございます。今年の夏は、夢の倶楽から酒田の魅力を贈ってみませんか。納涼フェア終了後もギフトセットはお受けします。

★★★ ご存じですか ★★★

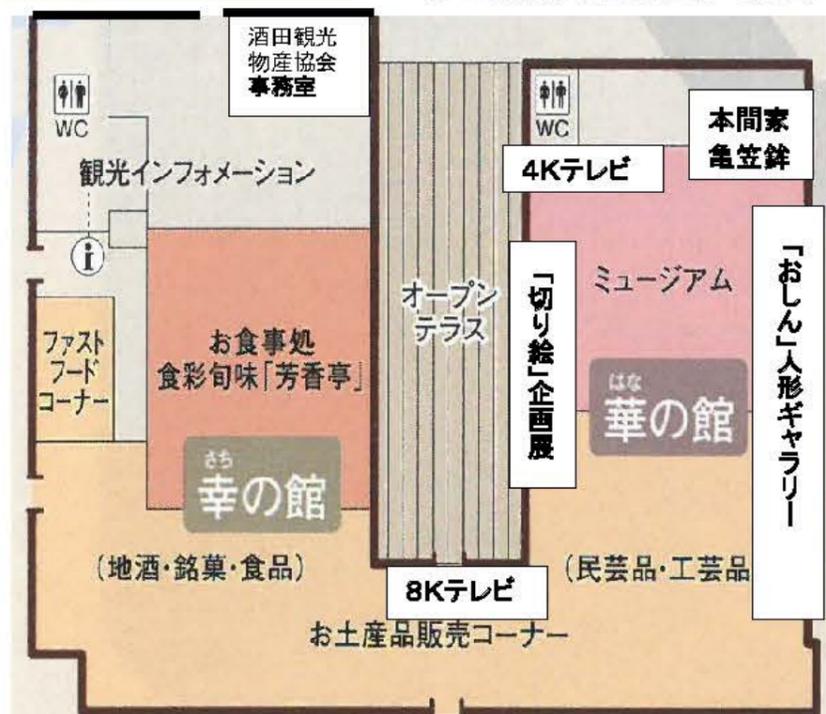
酒田の観光名所の一つ日和山公園には、「文学の散歩道」があります。文学の散歩道は、酒田にゆかりの深い文人墨客たちによる短歌や俳句、文などの文学碑が数多くあり、散策しながら、昔の酒田に思いを寄せることができます。さて、文学碑は全部でいくつあるでしょうか。 答えは「かわら版」の中にあります。

殿様が作った山居倉庫

明治26年(1893年)に旧酒井藩主が、米の保存と集積を目的に酒田米穀取引所の附属倉庫として建造したものです。

翌27年には最上川河口付近で大地震が発生。酒田では全焼家屋1747戸、倒壊家屋1558戸、死者162人の大惨事だった。特に船場町はひどかったと記録されており、その後中心部が東側の中町となった。

酒田夢の倶楽 館内のご案内



お〜い雲よ、ゆうゆうと山居倉庫を見おろしているのかい!



夢の倶楽 再発見!! 酒田の魅力を贈ろう!

